



アセスメント 4-2 現状における活動の課題分析と実行状況

記入者：

利用者：

日付：

	活動のステップ	評価	備考
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			

※評価：+-自分でできる、--できない・代わりにやってあげる

P-身体的な介助、V-言語指示、G-指さしや身振りによる支援、M-モデル提示



アセスメント 4-3 活動のやり方を伝える 3つのポイント

記入者：

利用者：

日付：

項目	種類	説明や内容	評価
視覚的指示	一目瞭然型	一度に1つの動作や操作であればできる	
		絵の指示もわからない	
	完成品見本	具体物・写真・絵・線画	
	ジグ	カットアウト・写真・線画	
	ラベル	具体物・写真・絵・文字	
	視覚的な合図	目印・マーク・写真・絵・線画・文字・文	
	視覚的な手順書	写真・絵・線画・文字・文	
情報や教材の整	絵の辞書	材料や教材の中でわからないものがある	
	作業の流れ	左から右、上から下	
	作業の配置	左から右、上から下	
	容器や仕切りの活用	いろんな材料が混じっていると混乱する？	
	作業空間の制限	〃	
	材料の固定	教材や器具は動かない方が良い？	
	容器固定型	〃	
視覚的強調	手順書など情報提示	1つずつ（1枚ずつ・めくり式）	
		一括リスト（左から右・上から下）	
	ハイライト	教材や道具：色・浮きだたせる・大きさ・汚れ	
		文字や文章：色・太字・下線・大きさ・枠など	
	注意が向きやすい物	目印・マーク・数字・記号・色・キャラクター	
	作業の範囲を狭める	注意の範囲が狭い？	
	材料の数量の制限	材料が多いと操作が難しい	
		周囲の刺激に注意散漫になる	
	ラベル	絵・写真・シンボル・文字	

評価：○-使える・当てはまる △-半々くらい ×使えない・当てはまらない